

令和7年度 高松市議会まちづくり対話会

～女性消防吏員のさらなる活躍に向けた取組の推進について～

日時：令和8年1月16日（金）午後2時～午後3時30分

会場：高松市防災合同庁舎 5階 503会議室

【開会】

大西委員長の司会により、高松市議会まちづくり対話会を開会いたしました。

まず、今年度の所管事務調査（毎年度、各委員会の所管に係る政策的なテーマを設定し、1年間を通して調査・研究を行い、市当局に対して政策



提言を行うもの) について紹介した後、参加者の自己紹介、テーマの概要と本市の課題等についての説明を行いました。

その後、14名の参加者の方々と、3つの論点に基づいて活発な意見交換が行われ、下記のとおり御意見をいただきました。

【意見交換】

①人材確保に向けた取組の強化について

- ・ 県外の専門学校・大学にも情報発信を広げる必要がある。
- ・ インターンシップはハードルが高いが、大学での合同説明会があればうれしい。
- ・ 大学1・2年生の早期に接点を持つことが重要である。
- ・ 防災訓練や学校行事などで女性消防吏員の活躍を、小学生・保育園児など早期から見てもらうことが有効である。
- ・ 消防の情報が少なく、女性消防吏員の活躍について知る機会、直接話を聞く機会はほとんどない。
- ・ 時代に合わせた採用方法の工夫が必要である。

②ロールモデルやキャリアパスの充実について

- ・ 女性が勤務できる施設が限られており、庁舎整備を進めてほしい。
- ・ 女性が働きやすい職場環境の整備が、人材確保につながる。
- ・ 電動ストレッチャーの導入により、職員の負担軽減と患者の安全が期待できる。

- ・女性消防吏員の活躍事例を具体的に伝えることで興味関心が高まる。
- ・女性管理職の増加も重要課題である。

③救急現場等における多様な役割について

- ・女性特有の症状やケガ等をした小さな子供の保護者には、女性消防吏員が聞き取りを担うことで的確な情報収集につながる。
- ・女性消防吏員がいることで現場や職場の雰囲気よくなる。



【閉会】

松熊副委員長から閉会の挨拶をして、対話会を終了しました。

参加いただいた方からのアンケートでは、「公務員を志す人に、女性消防吏員の情報がもっと届くような体制づくりをしてほしい。また、このような意見交換会の場を、是非設けていただきたい。」「女性消防吏員の募集や施設について早急に改善すべきだと思う。それぞれの現場の声を多く聞く場を設定していただきたい。」「様々な視点で話を聞けてよかった。」などの貴重な御意見をいただき、とても有意義な対話会となりました。

会の開催に御協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。